

ENEOS海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2024 年 8 月 3 日

工学部 工学研究科修士課程（どちらか○で囲む）
所属学科・専攻・回生 建築学 学科・専攻

修士2回生

氏 名 笹谷 匠生

1. 参加期間 2024 年 6 月 26 日 から 2024 年 7 月 8 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

スペイン・バルセロナ, Universitat de Barcelona

28th International Association People Environment Studies

3. 発表成果（概要）

修士課程1年における研究成果を「Topology Optimization of Periodic Lattice Structures
Considering Member Connectivity」と題し、ポスター発表とディスカッションを行った。

本研究の特徴は、高齢者住宅の居住者にスマホを貸与し、継続的に参与・調査をした点にある。

結果、スマホ導入実態と日常生活における行動変容、効果的な支援のあり方等が明らかになった。

ディスカッションでは、各国の事例や支援の状況、自国でICT端末導入支援を行う場合に関する質

問など、多くの論点が挙がり、特に興味深かったのは、そもそも公的な課題とすべき支援とはどのよ

うなものかであった。わが国でも限られた財源を活用するため、報酬や制度の改訂が続いている。

動向を追い、展望を持って研究を行う重要性と、各国「支援の規模と国民負担」の様相が異なるこ

と、日本はその一つの状況にあることを意識し、自らの研究の意味を振り返るきっかけになった。

4. 奨学金の使途

学会参加費（全額）、フィールドワークにかかる移動費（全額）、および渡航費（一部）